

# 八幡平いにしえの室

(市内にある指定文化財を紹介します)



## やまざきいちりつか 山崎一里塚

所在地 堀切第9地割内  
指定年月日 昭和49年7月20日(旧西根町指定)

一里塚は、道の両側に一つずつ対に設置した土盛り<sup>(注1)</sup>で、一里<sup>(注2)</sup>ごとに旅行者の目印として築いたものです。西暦1604年に江戸幕府が江戸日本橋を起点と定め、全国の諸大名に対して領内の街道に一里塚を築くよう指令を出しました。盛岡藩も同年から奥州道中の築造を始め、1610年頃には完成したと思われます。しかし、盛岡藩は広大な領地であったため、それ以外の街道については、17世紀後半まで整備が遅れました。市内を通る旧街道は、奥州道中の脇街道である「鹿角街道」で盛岡城下鍛冶丁が起点です。主な里程は、田頭・向坂から始まり、山崎、野口、新田、留の沢、七時雨、荒屋、曲田、苗代沢、蛇石、塩俵欠(兄畑)となります。山崎の一里塚は半壊していますが、2基ともに現存しており、江戸時代の交通史を解明する貴重な史跡として、私たちに伝えています。

(注1) 一般的な大きさは、周囲五間四方(約9.1<sup>2</sup>疔)、高さ一間半~二間(約2.7~3.6<sup>2</sup>疔)

(注2) 里間は約3.927km

《参考文献》『歴史の懐』鹿角街道を往くパンフレット、青森県あおもりの文化財(Web)、安代町史上巻



向坂一里塚跡  
(田頭第2地割内)



野口一里塚跡  
(西根寺田第8地割内)



新田一里塚跡  
(西根寺田第3地割内)

【広告】この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

※広報はちまんたい9月2日号(No.111)の印刷経費は1部39.9円(税込み)です。経費の一部は広告料で賄われています。広告掲載【本号】については、㈱岩手広告社(☎019-623-3777)まで。



古紙を配合した再生紙を使用しています